

第七十三回帝國議會
衆議院

昭和十三年度一般會計歲出ノ財源ニ外六件委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
特許法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
商標法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
不正競争防止法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
辦理士法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

會議

昭和十三年二月十六日(水曜日)午前十時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 一松 定吉君

理事 川崎巳之太郎君 理事 松木 弘君

理事 藤本 拾助君

櫻井兵五郎君

篠原 陸朗君

田中 源君

江羅直三郎君

小谷 節夫君

山崎 常吉君

川村保太郎君

馬場 元治君

出席政府委員左ノ如シ

商工政務次官

商工參與官

特許局長官

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

特許法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

商標法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

不正競争防止法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

貴族院送付)

辦理士法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

院送付)

○一松委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、本日ハ當委員會ニ付託セラレテ居リマス特許法中改正法律案、商標法中改正法律案、不正競争防止法中改正法律案、辦理士法中改正法律案ヲ議題ニ供シテ、是ガ審議ヲ進メマス、發言ノ通告ガアリマスカラ、之ヲ許シマス——稻田君

○稻田委員 私ハ茲ニ特許法中改正法律案、辦理士法中改正法律案等ニ關シマシテ、政府ニ對シテ御尋致シタイと思ヒマス、彼ノ蒸氣機關ガ發明セラレマスとか、或ハ紡織機械ガ發明ニナルとか、或ハ「ラヂオ」ト云ヒ飛行機ト云ヒ、サウ云フ大キナ發明ガアリマスル度毎ニ、是ガ人類ノ文化、人類ノ幸福ニ及ボシマスル影響ト云フモノハ、

實ニ大キイノデアリマス、特ニ手近ナ所カラ申上ゲテ見マスレバ、或ハ人造ノ燃料ガ發明サレ、或ハ人造ノ絹絲、人造ノ肥料、或ハ人造ノ羊毛ト云フヤウナ、吾々ノ直接日々ニ關係致シマスル偉大ナ發明ガアリマス、ソレガ國家社會、特ニ農村全體等ニ及ボシマスル影響、即チ一國ノ財政經濟貿易等ニ及ボシマスル影響等ヲ考ヘ、或ハ最近軍器ノ長足偉大ナル發明ニ依リマシテ、世界各國ノ國防上又軍器ノ上ニ於キマシテ、近代戰爭ニ一大革命ヲ及ボシテ居ルコトハ、是モ申上ゲル迄モナイコトデアリマス、斯ウシタ事ヲ考ヘテ見マスル場合ニ於キマシテ、發明ノ效力ノ偉大ナルコトハ實ニ大シタコトデ、或ハ石炭ガナイトカ、或ハ鐵ガナイトカ、或ハ燃料ガナイトカ云フヤウナ、サウシタ物資ノ缺乏ガ一國ノ産業國防ニ缺陷ヲ及ボスト云ッテ大騒ギラシテ居リマスケレドモ、此偉大ナル發明ガナイト云フ發明上ノ缺陷ガ、正ニソレト同等以上ナル重大問題デアルコトヲ吾々痛感セザルヲ得ナイノデアリマス、世界ヲ相手ニシテ戰爭ヲスルト云フ風ナ事ヲ考ヘテ見マス、私ハ思フニ石炭ノ缺乏、燃料ノ缺乏、或ハ軍器ノ或ル程度ノ缺乏ヨリ以上ニ求ムベキモノハ發明デハナイカト思フ、サウシタ重大ナル發明ト云フコトニ對シマシテ、今日ノ我國ノ政府ハ極メテ冷淡デハナイカト私ハ思ハザルヲ得ナイ、其理由ハ、僅ニ十萬圓内外ノ發明獎勵費ヲ使ッテ居ルト云フコトヲ聞キマスルガ、ソナコトデドウシテ發明ヲ獎勵シ、發明ヲ擁護スルコトガ出來ルカ、一體政府ハ何ラシテ居ルノデスカ、燃料ガ足ラヌノ、何ガ足ラヌト云ウテ莫大ナ資金ヲソレニ注込シテ居リナガラ、ソレト同等以上ノ效力ヲ及ボス發明ニ對シテハ極メテ冷淡デハアリマセヌカ、特許法中改正法律案ヲ出サレルモ宜シカラウ、辦理士法ト云フ法律案ヲ改正ナサルノモ宜カラウケレドモ、其根本ノ缺陷ヲ補ハウトサレナイナ

ラバ、私ハソナ細カイ改正ナシカハ問題ニナラスト思フ、今後政府ハ私ガ今御尋スルヤウナ發明ニ對シテ、モットヨリ以上ノ金ヲ注込デ獎勵シ、發明ヲ擁護シ、大イニ我國ノ發明ヲモットく盛大ニ發達セシメルヤウナコトヲ考ヘテ居ラル、ヤ否ヤ、之ニ付キマシテ特許局長官ノ責任アル御答辯ガ願ヒタイ

○石井政府委員 只今ノ稻田委員ノ御質問ハ目下ノ時局ニ於テ特ニ適切ナル御意見デアルト思フデアリマス、只今御指摘ニナリマシタ通り發明獎勵費トシテハ甚ダ少額ノ金額シカ現在ナイノデアリマシテ、其點ハ仰セノ通りデアリマス、唯甚ダ辯解ノヤウニナリマスケレドモ、御諒承アリタイト思ヒマスノハ、特許局ト云フ所ハ御承知ノ通り單リ商工省關係ノ發明バカリデナク、或ハ船舶或ハ航空事業、或ハ鐵道、或ハ醫藥ノ方面、詰リ凡百ノ發明ヲ取扱ッテ居ルノデゴザイマス、而シテドノ發明ト雖モ一國ノ文化ノ爲ニ貢獻セザルモノハナイノデアリマス、更ニ發明ノ出來マス段階ヲ考ヘテ見マスルト、一ツノ發明ガ出來ルト突如トシテ世ノ中ニ現レタヤウニ考ヘラレマスケレドモ、サウデハナイノデアリマシテ、先程御話ガゴザイマシタ「ワット」ノ發明ニ致シマシテ

モ、非常ニ目覺マシキ效果ヲ舉ゲマシタノハ「ワット」デゴザイマスケレドモ、「ワット」以前ニ於テモ多少其思想ガアリマシテ、又是ガ汽車トカ蒸氣機關ニ應用セラレルニ至リマス迄ニハ相當ノ年月ヲ要シテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマシテ、發明ニハ少クトモ大發明ニ付テハ幾多ノ段階ヲ經テ完成ノ域ニ達スルモノデアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソコデ初メ發明ガ出來マス時ニハ、一ツノ思想ガ發見サレル譯デアリマス、其思想ガ發見サレルコトニ付キマシテハ、偶然出來ル場合モアリ、或ハ非常ニ大規模ナル研究設備、及ビ豐富ナル知識ヲ持ツ學者ガ集リマシテ出來ル場合モアリマス、其思想ガ出來マシテカラ之ヲ實際ニ應用シ、且ツ之ヲ企業化スルト云フ點ニ至リマス迄ニハ、更ニ幾多ノ研究試驗ヲ經ナケレバナラスモノデゴザイマス、ソレデ只今特許局ニ付テ御尋ガアリマシタガ、先程申上ゲマシタ通り、特許局ハ凡百ノ方面ノ特許ノ登錄事務ヲヤッテ居リマシテ、又之ニ付テ獎勵モ致シテ居リマスガ、簡單ニ申セバ發明ノ第一階段ノ獎勵ヲ特許局ト致シマシテハヤッテ居ルノデアリマス、卑近ナ例ヲ申シマスレバ幼稚園カ小學校程度ノ教育ヲヤッテ居ルト云フノデアリマス、

是ガ大發明ニナリマス爲ニハ、到底現在ノ特許局ノ制度デハ間ニ合ハナイ、然ラバ特許局ヲモット非常ニ大キク擴張シテ有ユル發明獎勵ノコトヲヤッタ宜イデハナイカト云フ御意見モ御尤ト思ヒマスガ、サウナリマス又特別ノ專門ノ研究機關及ビ專門ノ學者ガ總テノ部門ニ於テ必要トサレル譯デアリマス、ソコデ或ハ商工省ノ部内ニ關スル限リニ於キマシテモ、燃料ニ付キマシテハ燃料研究所、或ハ航空ニ付テハ商工省以外ニ於テ航空ノ研究ヲ行フト云フヤウナ、又專門ナ特ニ設備ヲ整ヘマシタ所ガ必要ニナッテ來ルノデアリマス、ソレカラ發明ガ或ル程度進ミマス、之ヲ實用化スルコトヲ研究シナケレバナライ、ソレニハ工務局ニ於テ工業獎勵費ヲ出ストカ、ソレカラ又學術的ニ發明ヲ研究スル必要モゴザイマス、此點ニ付テハ文部省ニ於テ學術振興會ト云フ機關ニ依リマシテ、各學校ト連絡ヲ取リマシテ、學術的ニ發明ノ獎勵ヲ致シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ次第デアリマシテ、御指摘ノ通り發明ト云フノハ國家ノ大事業デアリマス、單リ特許局ダケガ力ヲ注イダノデハ到底足りナイノデアリマス、政府ノ有ユル部門ノ有ユル研究所、試験所等ヲ動員シテ之ニ當ラナケ

レバナラスト思フノデアリマス、御意見洵ニ御尤デアリマスガ、少クトモ今マデ特許局トシテ之ニ關スル限リヤッテ居リマスルノハ、發明思想ノ鼓舞獎勵、或ハ最近ニ於テ現レマシタ優良ナル發明品ノ展覽會ヲ開ク、ソレカラ尙ホ本年カラ行ハレテ居リマス仕事ト致シマシテハ、發明ノ實施ノ援助、即チ發明家ハ資力モ乏シシ、又實際的經驗ニモ乏シイ者デアリマスカラ、是ト資本家ト結び付ケル、ソシテ發明ヲ一ツ企業化サセル、仍テ以テ發明家ニ其勞苦ニ酬ユルダケノ社會的ノ報酬ヲ與ヘルト云フコトヲ本年カラヤッテ居リマス、是ガ相當成績ヲ舉ゲレバ一般ノ發明家ニ對シ勇氣ヲ付ケルコトニ於テ非常ニ效果ガアルト思フノデアリマス、甚ダ纏リマセヌコトヲ申上ゲマシタガ、大體只今申上ゲマシタ通り獨リ商工省ノミナラズ總テノ方面ニ於テ發明獎勵ヲヤッテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマス、尙ホ是モ範圍ガ狭イノデアリマスガ、帝國發明協會ニ於キマシテ長クモ恩賜金ノ一部ヲ以テマシテ、只今人造護謨ノ懸賞募集ヲヤッテ居リマス、更ニ進ンデ他ノモノモ順次其獎勵ノ一助ト致シマシテ懸賞ノ募集ヲ行ヒ、又蓄電池ノ發明、是モ毎年一定ノ資金ヲ以テ懸賞募集ヲ行ヒマシテ、相

當ノ效果ヲ擧ゲテ居ル次第デゴザイマス、要スルニ、特許局ハ一般ノ廣イ範圍ノ發明獎勵ヲヤッテ居ルノデアリマスカラ、専門ノ研究機關、或ハ獎勵機關ト致シマシテハ、工業試験所デアルトカ、燃料研究所デアルトカ、或ハ又機械試験所ト云フヤウナモノニ依リマシテ、政府自ラモ研究シ、又民間ノ發明ヲ側面カラ援助スルト云フヤウナコトヲヤッテ居ル次第デアリマス、洵ニ發明獎勵費ノ少額ナルコトハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、大體左様ナ事情ニアルト云フコトダケラ申上ゲマシテ、御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○**稻田委員** 只今長官ハ特許局ノ範圍ニ於テハ、一般ノモノヲ獎勵シテ居ッテ、特別ナモノハ文部省トカ、或ハ外務省トカ、商工省トカ云フ所デソレノヤッテ居ル、洵ニ經費ハ特許局ニ於テモ少クテ困ルト云フヤウナコトヲ申シテ居ラレマスガ、困ル困ラヌハ通り抜ケテ私ハ問題ニナラヌト思フ、是ハ事務ニ暗イ大臣トカ次官ト云フヤウナ人ニ申上ゲマシテモ、ヤハリアナタ方ノヤウナ實際ノ仕事ニ携ッテ居ラレル頭腦ノ良イオ方カラ御註文ナサラヌト、中々此經費ハ殖エナイト思フ、私ノ希望デアリマスガ、ソシテ十萬圓トカ、二十萬圓トカ云フヤウ

ナ——五十億モ六十億モ百億モ戰爭ガアレバ使フ、恐ラク百億ヤ二百億ヤ三百億ハ使ッテモ日本民族ハソシナコトデハビクトモセヌノデアリマスカラ、其事ヲ御考ニナリマシテ、最モ重大ナル役目ヲ勤ムル發明ト云フコトニ對シテ、其専門ノ局ニ當ッテ居ル長官アタリガ、モウ少シ責任アル仕事ヲナサラナクテハ、私ハ逆モ駄目ダト思フ、其決心ガナイナラバ、モウ役人ヲ辭メラレタ方ガ宜イ、甚ダ失禮ナコトヲ申シマシタガ、ドウカ其決心ヲ以テ上長官ニ對シテ費用ノ増額ヲ要求シテ貰ヒタイト思フ、尙ホ御尋致シマスガ、總テニ於テアナタノ方ノ局ニ於テ、或ハ其他ノ各省ニ於キマシテ、今日ソレ等ノ費用ヲ一體幾ラ使ッテ居ラレルノデアリマスガ、アナタノ御自身ノ御考ト致シマシテ、將來如何程アツタナラバ満足ト思ハレルノデアアルカト云フコトヲ御聽キ申シタイ、アトノコトハ私ハ又他日大臣ニ責任アル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、其點ニ付キマシテ、長官御自身ノ意見デモ宜イノデアリマスカラ、一ツ聽カシテ戴キタイト思ヒマス

○**石井政府委員** 只今ノ御意見ト同様ノ御意見ハ先般櫻井委員及ビ星委員カラモ十分ニ承ッテ居ルノデゴザイマシテ、全ク御尤ニ

思フノデゴザイマス、尙ホ發明獎勵ニ關スル經費ガ各省全部合計シマシテ幾ラニナルカト云フコトハ、只今直チニ御答申上ゲ兼ネルノデアリマス、又外ノ省ニ關スルコトデゴザイマスノデ、大體左様ナ關係ガアルト思フト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、其正確ナ數字ハ判明致シテ居リマセヌ、ソレカラ將來ドノ位ノ金額ガアレバ宜シイカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ無論多ケレバ多イ程宜イノデアリマシテ、ドノ位アレバ満足出來ルカト云フ御尋デアラウト思ヒマスガ、總テノ方面ニ互リマシテ、遺憾ナキ設備ヲ整ヘルト云フコトニナリマス

ト、餘程研究ヲ致シテ考ヘテ見マセヌト、數字デ以テ正確ナコトヲ申上ゲルコトハ一寸出來兼ルト思ヒマス、尙ホ是ハ私カラ御答辯申上ゲテハ如何カト思ヒマスケレドモ、ヤハリ發明獎勵ヲ徹底的ニヤルト云フコトニナリマスレバ、總テノ方面ニ於テ、ソレニ必要ナル設備ナリ、機關ナリヲ完備シナケレバナラヌト思フノデアリマス、單ニ今マデノヤウナ一般ノ獎勵事務ヲ行フト云フコトダケデハ、必シモ十分ト云フコトハ出來ナイダラウト思ヒマス、サウナリマスト、只今他ノ局トカ、或ハ他ノ省ニゴザイマス施設マデモ包含シナケレバナラヌト

云フヤウナコトガアリマシテ、一ツノ重大ナル問題ニナッテ參リマスルノデ、一寸私トシテ此程度ニヤルベキデアルト云フコトヲ直チニ申上ゲルト云フマデノ確信ヲ持ッテ居リマセヌ、唯無論多ケレバ多イ程宜イノデアリマシテ、其點ニ付テハ、今後ニ於キマシテモ出來ルダケ御意見ノ通り努力ヲ致シマシテ、發明獎勵ニ付テハ十分ノ經費ヲ取りマシテ、之ニ當リタイト思ッテ居リマス

○**稻田委員** 長官ノ洵ニ御熱誠アル御話ヲ承リマシテ、其點ニ於キマシテハ満足致シマシタノデ、以上ハ又大臣ニ對シテ責任アル御答辯ヲシテ戴クコトニ致シマス
次ニ御尋致シマスルノハ、辨理士法中改正法律案ノ本問題ニ移リタイト思ヒマスガ、政府ニ於ケレマシテハ、特許ノ出願ト實用新案ノ出願ニ對シマシテ、其許可ヲナサル方針或ハ方法ニ於テ同一ナル取扱ヲナサッテ居ルカ、即チ言ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、何レカ一方ヲ多ク許可スルト云フヤウナ方法ヲ採ッテ居ラレハシマセヌカト云フコトニ付キマシテ、御聽キシタイ

○**石井政府委員** 特許ト實用新案ノ審査ニ當ッテ、其手續ニ於キマシテモ、亦許可ヲ致シマス程度ニ於キマシテモ、何等差別ハゴ

ザイマセス

○**稻田委員** 我國ノ特許ガ出來マシタノハ、獨逸ノ方式ヲ模倣致シマシテ、特許ト實用新案トノ兩方ヲ採用シテ居ラル、ノデアリマス、亞米利加ニ於キマシテハ、二ツデナク一ツデアッテ、殆ド特許ノヤウナモノラシイノデスガ、私ガ或ル方面カラ研究シテ見マスルト、最近ニ於キマシテハ、特許局ノヤリ方ガ一方ニ偏シテ居ルト云フヤウナ嫌ガアルト云フ噂ヲ聞キマシタ、特許ノ方ハ成ベク御許ニナラヌヤウナ御方針デハナイカト云フヤウナ話ヲ聞イタノデアリマス、サウ云フコトハ噂ニ止マルノデアリマシテ、只今ノ言明ヲ信ジマシテ、是レ以上私ハ御尋致シマセヌガ、大體長官、サウ云フ風ナ譯デアリマスカ

○**石井政府委員** 只今仰セニナリマシタヤウナコトハ絕對ニゴザイマセヌ、又アッテハナラヌコトダト思ッテ居リマス

○**稻田委員** 特許又ハ實用新案ノ出願ニ對シマシテ、特許局ノ審査上ノ態度ガ昨今極メテ官僚式デアッテ、不親切デアルト云フヤウナ非難ガチヨイ／＼アルヤウニ承リマスルガ、申上ゲル迄モナク、發明ナドラスル人ハ多クハ資力ノ乏シイ人デアリマシテ、ソレ等ノ人ガ折角長年月ヲ費シマシテ發明

ヲシテ願出テ居リマスル特許ナリ或ハ實用新案ナリノ出願ヲ審査ナサルノニ付キマシテ、審査ニ名ヲ藉リマシテ、半年ナリ一年ナリ之ヲ引延バサル、ト云フコトハ、願出人ニ對シマシテハ非常ナル苦痛デハアルマイカト思ヒマス、ソレガ幸ニシテ半年、一年待チマシテ許可ニナリマスルナラバ結構デアリマスルガ、半年モ一年モ二年モ引張ラレマシテ、サウシテイカナイト云フコトニナリマスルト、其間ニ費シテ居リマスル所ノ費用ト云フモノ、其忍苦ト云フモノハ洵ニ同情スベキモノガアルト思ヒマスルガ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、特許局ニ於キマシテハ何等サウシタ非難ニ對スル責任ハナイノデセウカ、如何デス

○**石井政府委員** 只今申サレタヤウナ、非常ナ努力ヲ拂ッテ發明家ガ出願スル場合ニ於テ、特許局ガ無用ニ之ヲ引延バスト云フコトハ、私ハ絕對ニナイト信ジテ居リマス、又發明家ノ立場及ビ其苦心ト云フモノハ、私カラ申上ゲルノハ如何カト思ヒマスケレドモ、相當ニ之ヲ御理解致シテ居ル積リデアリマス、又平素役所ニ於キマシテモ、他ノ用事ハ措キマシテモ、發明家ノ訪問ガアル場合ニ於テハ能ク其希望ヲ伺ヒマシテ、不平ノ起ラナイヤウニ、非難ノ起ラナイヤ

ウニト云フコトニ常ニ努メテ居ル積リデアリマス、隨ヒマシテ無論今マデニ色々發明家ヨリ各種ノ點ニ於テ、特許局ノ仕事ニ付テ斯ウ云フ點ガ困ルト云フヤウナ御話ハ屢伺ッテ居リマス、絕對ニサウ云フヤウナ特許局ノ取扱ニ付テノ苦情ガナイト云フコトハ申上ゲラレナイノデアリマシテ、斯ル場合ニ於テハ、直チニ其真相ヲ審査致シマシテ改善ニ努メテ居リマス、併ナガラ單ニ無用ニ審査ノ期間ヲ引延バスト云フヤウナコトハ、私ハ絕對ニナイト思ッテ居リマス、又非常ニ多クノ審査官モ居ルコトデゴザイマスルカラ、毎月審査ノ成績ヲ調査致シマシテ、出來ルダケ早く審査ノ結束ヲ付ケルヤウニト云フコトヲ遺憾ナク注意ヲ致シテ居ル積リデゴザイマス

○**稻田委員** 特許局内ニ於キマスル審査官ノ中ニハ、非常ニ親切ナル方モアリマシテ、此件ハ望ミ薄ダカラト云フ風ナコトヲ率直ニ教ヘテ呉レル人モアルサウデアリマスガ、中ニハモウ何モ言ハズニ、半年モ一年モ延バシテ、最後ニビシヤット駄目ダト、斯ウ云フ風ナノガアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレハ執レガ宜イカト云フコトハ、私ハ茲ニ御尋ハ致シマセヌガ、色々役所ニモ方針モアリ、主義モアルコトデアリマセ

ウカラ申上ゲマセヌケレドモ、今申上ゲマスルヤウニ、發明家ハ至テ貧乏ノ人多イノデアリマスカラ、大體ノコトハ提出シタ時ニ、望ミノナイモノナラバ、望ミ薄デアルトカ云フコトハ教ヘテヤラレタ方ガ、一人ノ經濟カラ言ヒマシテモ、特許局ノ經濟カラ言ヒマシテモ、一國ノ大イナル經濟カラ言ヒマシテモ、其方ガ親切デアリ、利益デハアルマイカト思フノデアリマス、承ル所ニ依リマス、特許局ノ費用ト云フモノハ自給自足ヲナサツテ居ルト云フコトデアリマス、即チ自給自足ト云フノハ、出願ノ手数料デ以テ役所ノ、費用ハ賄ヒ得ルト云フコトヲ私ハ聞イテ居リマス、ソレハ私ガ聞イタノデアリマスカラ、ソレガ果シテ事實デアルカナイカト云フコトハ知リマセヌケレドモ、ソレ位ニ自給自足ノ出來ルヤウナ特許局デアリマシタナラバ、大臣タル者ハ勿論デアリマスルシ、或ハ又長官ニ於カレマシテモ、モウ少シ積極的ニ出ラレマシテ、費用ノ要ルベキモノハ費用ヲ要求サレマシテ、事務員ガ少イナラバ、事務員ヲ殖ヤサレ、審査官ガ少イナラバ、審査官ヲ殖ヤサレマシテ、ドシ／＼事務ノ進行ヲ御圖リニナルト云フコトガ出願者ニ對スル親切デアルノミナラズ、是ガ即チ發明

ノ獎勵ト云フコトニ對スル間接ノ大ナル效
果ヲ齎スベキモノデハアルマイカト私ハ思
フノデアリマス、私ノ今申上ゲマシタコト
ガ事實デアルト致シマスナラバ、長官ニ於
カレマシテハ、今日以後ニ於キマシテ、希
クバ費用ヲモウ少シ要求サレマシテ此特許
ノ事務ノ進捗ヲ圖リ、延イテハ發明ノ方面
ニ於テモ間接ニ大ナル貢獻ヲ爲スヤウニシ
テ貰ヒタイト思フノデアリマス、之ニ對シ
マシテ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○石井政府委員 只今第一ニ御尋ニナリマ

シタ大體ノ見込ヲ審査官ノ方カラ早く發明
家ニ話シテ貰ヒタイト云フコトハ、大體御
希望ノ通りヤッテ居ルモノト思ヒマス、唯一
寸申上ゲテ置キタイコトハ、御承知ノ通り、
特許局ノ方針ト云フ譯デナク、特許法ノ法
律上ノ立前ト致シマシテ、先願主義ヲ採ッテ
居リマス、即チ同ジヤウナ發明或ハ實用新
案ガアツタ場合ニ於テ、先ニ出願シタ方ガ許
可ヲ得ルノダ、ソレデ數百人ノ審査官ガ居
リマシテ、非常ニ狭イ範圍ノ細カイ受持ヲ
持ッテ居ル譯デアリマス、ソコヘ出願ガ出テ
來ル譯デアリマスカラ、初メカラ大體ノ見
當ノ付クモノデゴザイマスガ、中ニハソレ
ノ出來ナイノガアル、ト申シマスノハ、過
去ニ於テ既ニ外國又ハ我國ニ於テ特許ニナッ

テ居リマスモノハ大體分ッテ居リマスノデ、
ソレト非常ニ近イモノハ許可ニナル見込ガ
ナイ、唯現在出願中ノモノガ相當ノ數ヲ受
持ッテ居ル譯デアリマシテ、其自分ノ受持ッ
テ居リマスモノ全體ヲ調べテ見マセスト、
ソレニ類シタモノガ早く出テ居ルト云フヤ
ウナ場合モアリマスモノデスカラ、是ハ無
論順序ヲ逐ウテ處理シテ參ル譯デアリマス、
隨テ又新シイ出願ニ付キマシテ、見込ガア
ルカナイカト云フコトヲ即座ニ、或ハ短時間
ノ間ニ判斷スルト云フコトガ出來兼ネル場
合モアリマス、併ナガラ御意見ノ通り大體
見込ノ付ク場合モアリマス、斯ノ如キ場合
ニ於テハ無論意見ヲ申上ゲ、或ハ特許トシ
テ困難ノモノハ之ヲ實用新案ニ轉換致シマ
シテ出願シタラ見込ガアルデヤナイカト云
フコトモ申上ゲテ居ル筈デアリマス

ソレカラ特許局ノ經費ハ自給自足ニナッテ
居ルノデアアルカラ、モット人員ヲ増加シ、或ハ
其他ノ施設ヲ完備シテ發明者ノ便宜ヲ圖ルベ
キデアルト云フ點ニ付キマシテハ洵ニ御尤
デアリ、又實際相當ノ努力ヲ致シテ居ル積
リデゴザイマス、人員ニ付キマシテハ大體
出願ノ増加ニ應ズルダケノ人員ヲ取ッテ居
リマス、唯先般星委員カラモ御話ノゴザイ
マシタ通り、中々發明ノ審査ト云フコトハ

相當ノ經驗ト知識ガナケレバ十分ニ行カナ
イノデアリマシテ、唯無暗ニ早クヤレバ粗
漏ニ陥ルト云フコトニナリマスノデ、審査
官トシテ十分ナル資格ヲ有スルニ至ルマデ
ノ人物ノ養成ト云フコトニ餘程意ヲ用ヒナ
ケレバナラスト考ヘテ居ル次第デゴザイマ
ス、大體人員ハ出願ノ増加ニ伴ヒマシテ要
求シ、且ツ之ヲ計上致シテ居ルノデアリマ
ス、尙ホ其他ニ於キマシテモ、最近ニ於テ
行ヒマシタコトヲ御參考マデニ申上ゲマス
ト云フト、商標ノ登録ヲ致シマス場合ニ於
テハ、商標ノ印刷ヲ提出致サセテ居リマス、
是ハ發明ニハ關係ノナイコトデアリマスガ、
此印刷ノ提出ヲ命ズルコトヲ止メニ致シマ
スコトハ當業者ノ便利ニナルト思フノデア
リマス、又商標ノ色ノ付イテ居リマスモノ
ニ付テハ、之ヲ色刷ニスルト云フ經費ヲ本
年ヨリ取リマシテ、是モ實行致シテ居リマ
ス、又發明家ガ自分ノ參考トシテ既ニ特許
ニナリマシタ明細書等ヲ要求サレマス場合
ニ於テハ、從來ハ之ヲ印刷又ハ謄寫シタモ
ノヲ配付致シテ居リマシタガ、是モ昨年ヨ
リ經費ヲ増シマシテ、寫眞ニ依リマシテ迅
速ニ希望ノ特許明細書或ハ外國ノ書籍ノ寫
シヲ交付スルト云フヤウナコトモヤッテ居
リマス、ソレカラ先程一寸申上ゲマシタ發

明ノ實施援助ト云フコトモ本年實行致シテ
居リマス、漸次發明家ノ便宜ニナル施設ハ
益々之ヲ考ヘテ實行ニ移シテ參リタイト思ッ
テ居ル次第デアリマス

○稻田委員 只今ノ長官ノ御話ニ對シマシ
テハ、尙ホ隔靴搔痒、不十分デアルト思ヒ
マス、モウ少シ進シテ積極ノ元氣ノアル
將來ノ御方針ガ承リタイノデアリマスケレ
ドモ、御長官デハ或ハ御言明ニナリニクイ
カモ知レヌト思ヒマスカラ、是位デ只今ノ
御尋ハ打切りマス

次ニ御聽キ申シタイノハ、特許ナリ實用
新案ナリノ出願、或ハ拒絕査定又ハ無効
ノ審判、或ハ範圍確認等ノ問題ニ付キマ
シテ、當事者ヲ代理ラシテ辯論ヲ致シマ
ス訴訟代理人ニナリマスル辯護士ト云フ
モノハ、法廷ニ於キマシテハ技術的ノ方
面ノコトハ多ク辯護人ハ一向分リマセマ
ノデ、其方面ノコトハ別ニ専門家ノ技術家
デアアル辯護士ヲ訴訟代理人ノ其又代理人ト
シテ頼ミマシテ、辯論ヲ爲サシメテ居ルト
云フヤウナ今日ノ有様デアアルサウデアリマ
ス、左様ナ立場デアリマスル辯護士ヲ特許
局内ニ於ケル特許事務上ノ、即チ一般普通
裁判上ノコトニアラザル特許出願或ハ其抗
告審判及ビ上告審又ハ特許無効ノ審判又ハ

其抗告竝ニ上告審等ノ審判ニ於ケル訴訟代理人タルコトヲ認メテ居リナガラ、即チ技術ノ足りナイ辯護人ヲ特許局内ニ於ケル特許事務ノコトニ關スル訴訟代理人ニ認メテ居リナガラ、他方ニ於テ特許又ハ實用新案等ノ出願又ハ無効ノ審判等デ特許局内ノ技術的審判、裁判、普通裁判トハ異ッテ居ル特殊ノ裁判ニ拘ラズ、其裁判デ一審二審ニ於テハ當事者ノ訴訟代理人タルコトヲ認メラレテ居ル辨理士ト云フモノガ、同ジ裁判ヲヤル上告審ニ於キマシテ何ガ故ニ訴訟代理人タルコトヲ今日認メテ居ラナイノデアリマスカ、政府ハ今後ニ於キマシテモサウ云フコトヲ引續イテヤラナケレバナリマセスカ、ヤラレル方針デアルカ、ヤラナケレバナラナイナラバ、ソレニ付テ誰ガ聞イテモ納得シ得ル理由ヲ一ツ御聽キ申シタイノデアリマス、長官如何デアリマスカ

○石井政府委員 只今ノ御意見ハ實ハ相當古クカラ問題ニナツテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテ御話ノ通り現在ナツテ居リマス、理由ハドウデアアルカト云フ御尋デアリマス、大審院ニ對シテ上告ヲ致シマス理由ハ、技術上ノ點ニ付テハ之ヲ認メズ、單ニ法律上ノ不服ノ理由ガアル場合ニ於テノミ認メテ居リマスノデ、其點カラ申シマシ

テ、技術上ノ知識ヲ持ッテ居ル辨理士ガ、大審院ニ於ケル訴訟代理人トシテ之ヲ認ムルノ必要ガナイト云フコトニアルノデアッタト思ヒマス、又今日ニ於キマシテモ、其點ニ關スル關係及ビ之ニ關スル意見ト云フモノハ、同様デアアルト思フノデアリマス、是ハ單ニ特許局ノ立場カラ見マシテ意見モゴザイマセウシ、又司法省ト致シマシテ裁判所ノ制度トシテ考慮シナケレバナラス點モアルト思フノデアリマス、結局御意見ノ通り、只今ノ制度ヲ改善スルト致シマスレバ、民事訴訟法ノ改正ヲ行ハナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマシテ、此點ニ付キマシテハ尙ホ將來篤ト考慮致シ、且ツ司法省トモ協議致シマシテ、適當ノ方法ヲ考ヘテ行キタイト思ッテ居ル次第デゴザイマス

○稻田委員 一審竝ニ二審ガ技術上ノ審査デアリ、裁判デアリ、上告審ハ技術上デハナク法律上ノ裁判デアアルト云フコトヲハッキリ申サレマシタガ、ソレニ間違ヒハアリマセスカ

○石井政府委員 其通りニ考ヘマス

○稻田委員 然ラバ辨理士試験科目ニハ民法モアリ、刑法モアリ、民事訴訟法モ、刑事訴訟法モ、國際私法モ課セラレテ居リマス

ルガ、之ヲ「パス」シタ辨理士ガ、特許局内ニ於ケル特許出願或ハ拒絕審査、抗告審判、ソレノ拒絕審査或ハ無効審判デアルトカ、權利範圍ノ確認審判デアルトカ云フヤウナ、何等普通裁判所ニ於ケル事柄ニ關聯シナイ事ヲ取扱フ辨理士ガ、而モ如上ノヤウナ法律上ノ試験ヲ「パス」シテ居リマス者ニ對シテ、之ヲ疑ッテ力ナキモノトスルヤウナコトヲ現在認メテ行ッテ居ラル、ト云フヤウナコトハ、辨理士ト云フモノニ對スル非常ナル侮辱デハアリマスマイカ、民法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法、國際私法ヲ試験ニ課シテ居ル辨理士ヲ、技術上ノコトヲ根據トシタ上告審ニ於キマシテ、辯護士ガナケレバ特許ナリ、或ハ實用新案ノ裁判上ノ訴訟代理人ガ勤マラスト云フヤウナコトハ、私ハ洵ニ消極的デアリ、サウシタコトデハ今申シマスル發明ノ獎勵ト云フヤウナコトニ對シテモ、ドウカト思ハル、ノデアリマス、是ハ只今申サレマシタヤウナ意味ニ於キマシテ、餘リ多クハ申シマセヌ、將來考究スルトカ、或ハ司法省ト相談ラシテ何かトカ考ヘテ見タイト云フ御話デアリマスルカラシテ、ヨリ以上追究ハ致シマセヌケレドモ、モウ上告審ナドニハ、辨理士ヲ堂々ト訴訟代理人ニ認メラル、時期デハアルマイカ

ト思フ、詰リ辨理士ヲサウシタ方面ニ置去リマシテ置イテ、サウシテ裁判上、特許事務上ノ進捗ヲ圖ルト云フヤウナコトハ、特許局自身ガ特許局ヲ侮辱シテ居ルノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、ドウカ此點ニ於キマシテ、私ハ今度ノ改正法律案中ニモ之ヲ織込ンデ、出來ルナラバ修正ラシテ貰ヒマシテモ之ヲ加ヘテ貰ヒタイト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ加ヘテ戴クヤウナ御考ハアリマセヌデセウカ

○石井政府委員 非常ニ重大ナ問題ニ付テノ御質問デアリマスガ、先ヅ第一ニ申上ゲタイト思ヒマスノハ、辨理士ノ試験科目デアリマスガ、此試験科目ニハ民法デアルトカ、或ハ訴訟法デアルトカ云フモノガ既ニアルデハナイカト云フ御尋デアリマス、併ナガラ實際ノ事情ヲ申上ゲマス、辨理士ニハ二種アルト云フコトヲ申上ゲタラ宜イカト思フノデアリマス、即チ法律關係ノ辨理士ト、ソレカラ技術關係ノ辨理士トアル譯デアリマス、ソレデ兩方トモ無論必要デナケレバナラスノデアリマスガ、技術關係ノ方ノ辨理士ハ技術ノ方ノ試験ヲ主トシテスルノデアリマス、更ニ現行法ニ於キマシテハ、大學ニ於キマシテ技術ノ習熟ヲ致シマシタ者ハ、其儘銓衡ニ依リマシテ辨理士

ニナルコトガ出來ルノデアリマス、斯ノ如キ種類ノ辨理士ト云フモノハ、先ヅ法律上ノ學問ハ致シテ居ラナイノデアリマス、一般ニ辨理士ト申セバ斯ノ如キ辨理士モ含マレル譯デゴザイマスカラ、サウ云フ辨理士が大審院ニ參リマシテ、法律上ノ議論ヲスルト云フコトハ不適當デハアルマイカト思フノデアリマス、尙ホ法律ノ方ノ關係ノ辨士モ居ルコトハ御説ノ通りデアリマス、併ナガラ是モ自ラ辨理士ト辯護士トノ二ツノ制度ガアリマサウニ、辨理士ノ方ハ御意見ノ通りニ、主トシテ特許局ニ於ケル所ノ出願デアリマストカ——數カラ申セバ出願ガ斷然多イデアリマスガ、其出願ノ事務、ソレカラ御話ノ通りノ審判ノ事務ヲ取扱ッテ行キマス爲ニ、必要ナル法律上ノ知識ヲ試験スル制度ニナッテ居ルノデアリマス、隨テ自ラ又ソコニ其試験ノ内容ニ於テモ、辯護士トハ異ッテ居ル所ガアルノデアリマス、或ハ特許法其他ノ工業所有權ノ法規、或ハ條約ニ關シマスル試験ニ相當ノ重點ヲ置キマシテ、特許局ニ對スル手續ヲ爲スニ必要ナル知識ヲ試験スルト云フ立前ニナッテ居リマスノデ、之ヲ以テ直チニ辯護士ト同等ニ扱フト云フコトハ考ヘラレナイノデアリマス、又現在ノ我國ノ司法制度ノ根

本ノ立前ト致シマシテ、辯護士ト云フモノハ——是ハ或ハ學者ノ言フコトデアルカモ知レマセヌガ、司法機關ノ一部ヲ構成スルモノデアルト言ハレテ居ルノデアリマス、現ニ民事訴訟法トカ、刑事訴訟法ニ於テ、辯護士ノ職務、又ハ機能ヲ特ニ規定シテ居ルノデアリマス、辯護士法ニ於キマシテモ、辯護士ハ是レノ職務ヲ行フト云フ風ニ書イテ居リマシテ、根本ノ制度ガ辨理士トハ違ッテ居ルノデアリマス、辨理士ハ出願ノ代理業務ヲ行フ、辯護士ノ方ハ一定ノ法律上規定サレタ所ノ職務ヲ司法機關トシテ行フモノト從來解釋サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ御説ノ通り、將來辨理士ノ地位モ向上シ、又我國ノ發明モ益々進歩ヲ遂ゲマシテ、辨理士ノ法律的知識ガ御説ノ如ク辯護士ト較ベテ制度トシテ何等劣ル所ガナイト云フ域ニ迄到達スルコトガ出來マスレバ、又斯ノ如クアランコトヲ希望スルノデアリマスシ、或ハ御意見ノ通りノヤウナコトニナッテ參ルノデハアルマイカト云フ風ニモ考ヘルノデゴザイマスガ、ソレハ私トシテハ現在ハ唯一ツノ理想トシテ考ヘテ居ルノデアリマシテ、只今ノ辨理士ノ制度ヲ直チニ其程度ニ迄持ッテ行クト云フコトニ付テハ、多少實情ニ副ハザルノ憾ミガアルノデ

ハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ只今御審議ヲ願ッテ居リマス案ニ付テ、左様ノ改正ヲ致スト云フコトハ考ヘテ居リマセヌノデアリマス

○**稻田委員** 大體長官ノ御意見ヲ承リマシテ、私モ諒承致シタ次第デアリマス、御尋スルコトガ前後ニナリマシタガ、只今御尋致シマシタノハ第九條ニ付デアリマスガ、前ニ遡リマシテ、第四條ヲ削除ナサイマシタ理由ニ付キマシテ御説明願ヒタイノデアリマス

○**石井政府委員** 第四條ヲ削除致シマシタノハ、是ハモウ既ニ御承知ノコトト思ヒマスガ、原則トシテ辨理士ニナル場合ニ於テハ國家試験ヲ行フト云フ趣旨デアリマシテ、今回ノ改正ニ於テ主ナル點ガ三ツアリマスガ、其中ノ一ツヲ占メルモノデアリマス、現行法デハ學位ヲ有スル者トカ、或ハ大學ヲ卒業致シマシタ者ハ詮衡ニ依リマシテ、其儘辨理士タルコトヲ認メテ居ルノデアリマスガ、先程カラ色々御意見ヲ承ッテ居リマス通り、苟モ今後ニ於テ發明ガ國家ニ取リ益々重大ナ意義ヲ持ッテ來ルト同時ニ、粒々辛苦ヲ致シマシタ發明家ガ、其得タル所ノ發明ヲ權利トシテ獲得スル場合ニ於テ、其代理ノ任ニ當ル者ハ、十分ナル基礎ノ知識

ヲ有スルニアラザレバ、完全ニ其任務ヲ遂行スルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、之ニ對シテ辯護士ト同様ニ國家試験ヲ行ヒマシテ、辨理士トシテ必要ナ基礎的知識ヲ試験ヲ致シマシテ、原則トシテ之ニ對シテ辨理士ノ資格ヲ與ヘルト云フ趣旨ニ外ナラナイノデゴザイマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○**稻田委員** 御説ハ一般論ト致シマシテ洵ニ御尤デアリマス、併ナガラモノハ一長一短ノアルコトハ爭ハレナイノデアリマス、昨今文官任用令ノ改正ガドウトカ、外交官ノ試験ガドウトカ云フコトガ現内閣ノ革新意見ノ中ニモ織込マレテ居ルヤウデアリマスガ、何モ彼モ試験々々ト申シマシテハ、人格ナリ、人物ト云フコトガ完全ニ織込マレナイ弊ガアルノデアリマス、今日我國ノ外交官ニ於キマシテモ、多クノ官吏ノ間ニ於キマシテモ、何デモ篩ニ掛ケテ、サウシテ學問サヘ出來レバ外交官ニナレル、學問サヘ出來レバ役人ニナレルト云フ試験主義ノ弊害ガ現レマシテ、今日現内閣ニ於テモ、特別任用令ニ於テ之ヲ何トカ緩和シヨウトシテ居ラレル實情ニ鑑ミマシテ、今此改正法律案ニ於テ第四條ヲ無下ニ削除シテシマフト云フコトハ、一般論カラ申シマシテ公

平デアルトカ、平等デアルトカ云フ意味ニ於キマシテ、御無理御尤ナコトデアルニ違ヒナイノデアリマスガ、將來又此方面ニモ特別任用が必要ダト云フ風ナコトガ起ラテ來ハシナイカト云フコトニ對シテハ、

現在何等懸念ガナイモノデアリマセウカ、懸念ガナイト云フコトガ斷定出來得ルナラバ、無下ニ此第四條ヲ御削除ニナッテ御差支アルマイト思ヒマスガ、現内閣ノ今日ノ方針ノ如ク試験制度ヲ緩和シテ特別任用ヲ加味シヨウト云フヤウナ考ヲ今日懷イテ居ラレマスルコトガ此方面ニモ多少參考ニナルナラバ、是ハ改正スル前ニ於テ何トカ御考ニナッテ置イタ方ガ宜イノデハナイカト云フコトヲ私ハ御尋シテ見タイノデアリマス

○石井政府委員

只今辨理士ノ人格ニ付テ御心配ノ點ヲ御話ガゴザイマシタガ、此辨理士法案ガ若シモ實施サレル場合ニ於キマシテハ、辨理士ノ試験其モノニ付テモ、實情ニ適スルヤウニ十分ニ改善ヲ加ヘテ行キ

タイト思ッテ居ル次第デアリマス、現在ニ於テ文官任用令ガドウ改正ニナリマスカハ承知致シテ居リマセヌガ、社會ノ實情カラ必要ト認メラレル所ハ十分考慮致シマシテ、試験ノ課目及ビ其内容等ニ付キマシテモ、

遺憾ナイヤウニ致シテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○稻田委員

大變私一人デ時間ヲ取りマシテ、洵ニ恐縮ニ堪ヘナカッタ次第デアリマス、長官ノ極メテ眞摯ナル御話ヲ承リマシテ、大體ニ於テ非常ニ満足ヲシ且ツ敬意ヲ表シマシテ、私ノ質問ハ是デ以テ打切りタイト思ヒマス、尙ホ足ラザル所ハ又後日ニ於テ御尋致シ、且ツ重要ノ點ニ於キマシテハ大臣ニ對シマシテ御尋致シタイト思フ次第デアリマス、是デ打切りマス

○一松委員長

暫時休憩致シマス、午後一時半ヨリ會議ヲ續ケマス

午後零時二分休憩

午後二時十九分開議

○川崎委員長代理

委員長ガ急用ガアリマシテ、外ヘ出テ居リマスノデ、暫時私が代リマス、休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、今成委員ノ質問ノ通告ガゴザイマスカラ、之ヲ許可致シマス——今成君

○今成委員

私ハ辨理士法改正法律案ニ付キマシテ、一二政府當局ノ御意見ヲ承ッテ見タイト思ヒマス、此度ノ改正案ノ第五條ニ辨理士ノ資格ノ規定ヲ改正ニ相成ッタノデアリマスガ、他ノ規定ハ兎ニ角ト致シマシテ、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ永

久ニ其資格ヲ失フト云フコトニ御改正ニナルヤウデアリマス、從前ハ處刑ヲ受ケタ者ハ執行ヲ終ツタ後三箇年經テバ再び資格ヲ回復シ得ル規定デアッタノガ、今度ハ永久ニ失フト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、

是ハ多分辯護士法トノ權衡上斯様ナ規定ヲ置カレタモノト信ズルノデゴザイマスガ、此辯護士法ノ制定ニ付キマシテハ、相當ニ議論ガアッタノデゴザイマス、私ハ當時立法ニ參與致シマセヌシタガ、其當時參與シタ議員ノ方カラ承リマス、兎ニ角私共一番憂ヘマスノハ選舉法違反ニ依ッテ處罰サレタ人デアリマス、大體ソレヲ標準ニシテ私共ハ申上ゲルノデアリマスガ、從前ハ選舉法違反ト云フヤウナ犯罪ハ、餘リ重ク處罰シタイト云フヤウナ方針カラ致シマシテ、大體ニ於テ罰金刑デ済ンデ居ッタ、隨テ當時ノ政府委員ノ御説明ニモ、辯護士ガ選舉違反ニ觸レタヤウナ場合ニ於テハ、多ク罰金デ處刑サレルノデアルガ故ニ、此辯護士法ノ資格ノ條件ニ大體ニ於テハ當嵌ラヌト思フ、隨テ贊成シテ欲シイト云フヤウナ意味カラ致シマシテ、實情ガ全ク罰金デ済ンデ居ッタモノデスカラ、資格ヲ喪失シタイト信ジテ同意ヲサレタト云フヤウナ話モ聞イタノデアリマス、然ルニ御承知ノ通り一昨々

年ヨリ肅正選舉ガ絶叫サレテ參リマシテ、選舉法ノ立前ヲ何處迄モ嚴肅ニ之ヲ行ヒ、苟モ罪ヲ犯シタ者ハ大體ニ於テ體刑ヲ以テ處分スルト云フヤウナ嚴重ナ方針ニナッテ參リマシタガ爲ニ、選舉法ノ爲ニ辯護士ノ資格ヲ失フヤウナ者ガ天下ニ簇出シテ參ッタノデアリマス、是ガ非常ナ物議ノ種トナッテ居リマシテ、辯護士トナッテ居ル人々ハ、或ハ選舉事務長トナリ、或ハ選舉委員トナッテ、選舉ニ關係致シマシテ、思ハザル過ヨリ致シマシテ、選舉法ニ觸レルヤウナコトガ起キテ來タノデアリマス、御承知ノ通り選舉法ハ非常ニ複雑多岐デゴザイマシテ、

中ニハ惡質犯罪モゴザイマスケレドモ、思ハズ體刑ニ觸レルヤウナ者ガアルノデアリマス、所管ガ違ヒマスケレドモ、衆議院議員選舉法ノ百一條ノ規定ノ如キハ選舉事務長デナケレバ——選舉委員ガ事務長ノ承諾ナクシテ選舉費用ヲ支出致シマシテモ、ソレハ合法ノ支出デアッテモ、之ヲ一年以下ノ禁錮ニ處スト稱シテ罰金刑ノ選擇ガナイ、故ニ是ガ爲ニ僅ナル形式上ノ事務長ノ承諾ノ文書ナクシテ、或ハ宿泊料ヲ拂ヒ、或ハ自動車賃ヲ拂ッタガ爲ニ檢舉サレマシテ、サウシテ裁判所ガ同情シヨウト思ッテモ、百一條ハ單一ノ體刑ニナッテ居

ルガ爲ニ、體刑ノ處分ヲ受ケテシマツタ、斯
ウ云フ者ガ大變ニ簇出シテ參ツタ爲ニ、一面
ニ於テハ衆議院議員選舉法ノ改正ガ絶叫サ
レルト共ニ、一面ニ於テ辯護士法ノ改正ヲ
ヤツテ、サウシテ永久ニ其資格ヲ失ハシメル
ヤウナコトヲシナイ方ガ宜シイト云フ輿論
ガ、昨年ノ七十議會以來屢、起キテ居ルコ
トハ、商工省ノ政府當局ニ於テモ御承知ノ
筈デアリマス、殊ニ承リマス、辯護士ノ
御職業ノ方ノ大部分ト申シマス、辯護士
ヲ兼ネテ居ル人ガ多イノデアリマス、隨テ
辯護士ヲ辯護士ヲ兼ネテ居ル人デソレム、
ノ候補者ナリ、或ハ選舉事務長トナリ、或
ハ選舉委員トナル方ガ多數アル筈デアリマ
ス、然ルニ辯護士法ノ改正ガ絶叫サレ、一
面ニ於テハ衆議院議員選舉法ヲモウ少シ緩
和シヨウト云フ說ノ高イ今日、再ビ此辯護
士法ト同様ノ規定ヲ御設ケニナルト云フコ
トハ、時代ニ副ハナイ改正デハナイカト云
フコトヲ私共ハ考ヘルノデアリマス、政府
ニ於テハ此輿論ヲ十分ニ察知爲サレマシ
テ、尙且ツ此改正案ヲ御提出ニナツタモノデ
アルカ、或ハソレハ輿論デナイガ、飽マデ
選舉法デモ何デモ體刑ニ處セラレ、バ、永
久ニ資格ヲ失ハシムルコトガ辯護士ノ資格
向上ノ上ニ必要ダト云フ御意見デ、斯様ナ

規定ノ改正ヲ御發案ニナツタモノカ、若シ
左様ナ後段ノヤウナ場合デアリト致シマス
レバ、全ク時代ヲ御覽ニナラナイ所ノ甚ダ
低見デアルト云フコトヲ私共ハ考ヘマス、
此御發案ヲ爲サイマシタ根柢ノ精神ヲ承リ
タイノデアリマス、現ニ此議會ニ於キマシ
テモ、衆議院ヨリ辯護士法ノ改正ヲ致シマシ
テ、破廉恥罪、或ハ皇室ニ對スル罪、サウ
云フ職業上許スコトノ出來ナイ犯罪ニ對シ
マシテハ、永久的ノ失格ノ條件ニシ、其他
ノ犯罪ニ付テハ、大體ニ於テ公權停止中ハ
仕方ガナイガ、公權停止ガ終レバ、資格ヲ
回復セシメヨウト云フヤウナ改正案ガ各派
ヨリ續々ト出デ居リマス、斯様ナ社會情勢
ヲ御覽ニナツテ居リナガラ、強ヒテ斯様ナ改
正ヲ爲サラウト云フ御意思ハ何處ニアルカ
ト云フコトヲ承リタイノデアリマス、若シ
是ガ天下ノ物議トナツテ、輿論デゴザイマス
ルナラバ、却テ商工省ノ政府當局ヨリ辯護
士法ノ改正ヲ促ス意味ヲ以チマシテモ、或
ル限定シタ犯罪ダケニ對スル失格條件ヲ御
設ケニナルヤウニ御發案ニナツタ方ガ宜イ
ト私ハ思ヒマス、唯辯護士法トノ權衡上惡
クテモ何デモ出スノダト云フノデハ、甚ダ
私ハ不親切ダト思フ、司法省ハ相當考ヘテ
居リマシテ早晚改正サレルト私共ハ確信シ

テ居ルノデアリマス、司法省ノ辯護士法改
正ノ以前ニ於テ、寧ロ商工當局ニ於カセラ
レテハ此辯護士ニ對スル資格ニ付テノ條件
ヲ緩和サレタ方ガ却ツテ宜シイノデハナイ
カト思ヒマスガ、サウ云フ御意思ガアルカ
ドウカト云フコトヲ率直明快ニ御答辯ヲ御
願シタイト思ヒマス
○本暮政府委員 御承知ノ通り、今回ノ辨
護士法、改正ノ目的ハ、既ニ度々御説明申
上ゲマシタ通りニ、最近特許實用新案、意
匠商標等ノ出願、請求ナドノ數ガ非常ニ多
クナツテ參リマシタ、而シテ現在ノヤウナ國
際的ニ切迫致シマシタ經濟情勢ノ下ニ於
テ、是等ノ工業所有權ト云フヤウナ問題
ハ、特ニ重要ナル問題トシテ取上ゲラレ
ナクテハナラス時ニ當リマシテ、之ヲ扱
フ辯護士ノ人格品位ト云フモノヲ高メマ
シテ、丁度一昨年四月實施ニナリマシタ改
正辯護士法ノ目的ガ辯護士ノ人格品位ヲ高
メテ依頼者ノ信用ヲ一層高メルヤウニスル
目的ト同ジ意味ガ主タル目的トシテ改正ヲ
致シマシタヤウナ譯デゴザイマシテ、缺格
條項ニ付キマシテモ、現行法ヲ改メタコト
ガ酷デハナイカト云フ御話ハ、一應ハ選舉
違反ニ依ル禁錮ノ刑ニ處セラレタル人ニ關
スル限りニ於キマシテハ、洵ニ御尤デアリ、

御同感ニ感ズルノデゴザイマスケレドモ、
辯護士法ト睨ミ合セマシテ、辯護士モ同ジ
ヤウニ、其人格品位ヲ高メタイト云フ趣旨
ノ下ニ缺格條項ヲ決メタ場合ニ於キマシテ
ハ、見做フベキ元ノ辯護士法ノ缺格條項ト
同ジヤウニヤルノガ宜イノデハナイカト云
フノデ、原案ノヤウニシテ提出ヲ致シタヤ
ウナ次第デゴザイマス、御參考マデニ申上
ゲテ置キマスガ、高等試驗令ニ依リマシテ、
ヤハリ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタ者ハ、高
等試驗ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フコト
ハズツト前カラアリマスノデ、是ハ恐ラク時
勢ノ變遷、時代ノ要求ニ鑑ミテ辯護士法改
正ノ時ニ、ヤハリ同ジヤウニ取入レタモノ
ノヤウニモ考ヘラレマスノデ、今回辯護士
法ハ只今縷々申上ゲマシタ通りニ、工業所
有權ノ問題ヲ特ニ重ク取扱フ必要ガアリ、
殊ニ發明、考案ト云フモノガ日本ノ産業ヲ
指導スル上ニ重大ナル意義ノアルコトニ鑑
ミマシテ、ソレヲ取扱フ辯護士ノ人格ヲ高
メルト云フコトハ、丁度辯護士ノ人格ヲ高
メルノト同ジ意味合ヲ持ッテ居ルノデアリ
マスカラ、改正辯護士法ニ倣ヒマシテ、缺
格條項ヲ決メタヤウナ次第デアリマス
○今成委員 只今御答辯ニナリマシタ御趣
旨ヲ承リマス、結局辯護士法トノ比較ノ上

カラ御出シニナタト云フ私ノ想像通りノ御答辯ガアツタヤウデゴザイマス、殊ニ選舉法違反等ニナッテ處罰サレタ者ニ對シテ、永久ニ失格サセルコトニ付テハ氣ノ毒ナ感ガアルト云フコトニモ御同意下サツタヤウニモ承ツタノデゴザイマスガ、然ラバ寧ロ比較ヨリモ先程言フヤウナ趣旨カラ致シマシテ、此改正ニ當ッテモウ少シ其非難ヲ緩和スルヤウナ方法デ立法ヲナサツタ方ガ時代ニ適合スルモノデハナイデアリマセウカ、殊ニ最高學府ヲ出、而モ司法科ノ試験ヲ受ケ、若クハ辨理士ノ試験ヲ受ケ、資格ニ付キマシテハ從來ヨリモ非常ニ嚴重ニ辨理士ノ品位向上ノ爲ニ、此規定ヲ御改正ニナッテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウニ資格ニ付テハ非常ナ銓衡ヲナサツテ優良ナ人ヲ採用スルト云フ意味デアリマスカラバ、過ッテ刑ニ觸レタ者ニ對スル多少ノ緩和ヲ置イデ宜シイト思フノデアリマス、私共ハ破廉恥罪トカ或ハ人ノ聲譽スルヤウナ犯罪ニ對シテモ許セト云フノデハナイノデアリマス、サウ云フ者ニ對シテハ永久失格デ宜シイノデアリマスガ、サウデナク、萬已ムヲ得ヌ犯罪ニ依ッテ刑ニ觸レタヤウナ者モアルノデアリマスカラ、或ル特定ノ犯罪ニ對シマシテハ永久失格デアルガ、サウデナイモノハ公

權停止ガ終ッタ時カ、或ハ公權停止後相當年限ガ經ツタナラバ、之ヲ許シテヤルヤウニ緩和スルコトガ宜イト思フノデアリマス、是ハ或ハ比較ニナラスカモ知レマセスガ、醫師或ハ齒科醫師、藥劑士等ノ規定トモ對照致シマスト、醫師、齒科醫師ト云フヤウナ人ハ職務上ノ犯罪ヲ犯シマシテモ、執行猶豫ニナリマスレバ、平然トシテ職業ヲヤツテ居レル、公權停止ガ終レバ當然其資格ヲ回復シ、多少破廉恥ノ罪ヲ犯シテモ内務省ガ免狀ヲ取上ゲナケレバドン／＼仕事ヲヤツテ居ラレルト云フヤウナコトヲ考ヘマスト、獨リ辯護士若クハ辨理士ニ對シテ殘酷ナル規定ヲ置カル、コトガ私共ニハ分ラナイ、惡イノハ惡イノデドン／＼「オミット」ナサツテモ宜イケレドモ、中ニハ良イ者モアリマスカラ、千篇一律ニ、善惡共ニ永久ニ資格ヲ失ハシメテ、殆ド生命線ヲ奪フヤウナ規定ヲ御設ケニナル理由ガ分ラナイ、成程私ノ言フ通り氣ノ毒ナ事情モアルト云フコトデアリマスカラバ、竿頭一步ヲ御進メニナツテ、寧ロ時代ニ副フベク改正ヲナサルコトガ最モ宜イ取扱振リダト云フコトモ私共ハ考ヘルノデアリマス、是ハマダドウナルカ分リマセスガ、若シ吾々ノ方面デ委員ノ各位ト御相談申上ゲマシテ、此時代ニ副フヤ

ウニ改正スルガ宜シイト云フノデ原案ニ筆ヲ入レマシタナラバ、政府當局ニ於テハ御同意戴ケルモノデアルカドウカ、最後ノ御言葉ヲ承リマシテ私共ハ此案ニ對シテ善處シタイト思ヒマス

○木暮政府委員 今成委員カラ洵ニ御熱心ナ御議論ヲ拜聽致シマシタガ、本問題ニ付キマシテハ、曩ニ前議會ニ出マシタ時モ大分問題ニナリマシテ——是ハ辯護士法ノ方デアリマスガ、殆ド兩院協議會ニ迄行ツタヤウニ記憶シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、サウ云フ前ノ辯護士法ノ缺格條項ニ對シテ、紛々紛々論争ノアリマシタコトヲ考ヘマシテ、恐ラクハ賢明ナル衆議院ノ方々ガ原案ニ對シテ深キ御了解ノ下ニ御賛成ヲ表シ下サレ、此儘御通過下サルコトヲ政府ハ確信シテ疑ハナイノデアリマス、ソレカラ只今醫師ト辯護士、辨理士トノ間ノ刑ニ觸レタ者ニ對スル取扱ガ如何ニモ違ヒ過ギルデハナイカト云フヤウナ御話モゴザイマシタガ、是ハ恐ラク議論ノ岐レル所デアラウト思ヒマスガ、當局ノ見ル所ト致シマスト、醫師ナドハ所謂治療其他ノ技術的ノ信賴デゴザイマスガ、辨理士、辯護士ノ方ハ自分ノ一切ヲ舉ガテソレニ委セルト云フ代理人トシテノ人格的ニ非常ニ強イ意味ノ信賴ト云フコトガ深

ク含マレテ居ルヤウニ考ヘマスノデ、其點聊カ違フヤウニモ考ヘマスガ、是ハ議論ノ相違ニナリマスカラ、強ヒテ強辯致ス譯デハゴザイマセス、而シテ禁錮ニ觸レタ者ヲ缺格條項ニ入レマシタコトニ對シテ色々一應御尤ナ御言葉ガゴザイマシタガ、要スルニ今成サンノ御意見デモ、他ノ問題デ禁錮以上ノ刑役ニ觸レタ者ニ對シテハ御議論ハナク、辨理士、辯護士ト云フヤウナ方々ガ其職分ニ相應シイ國家ノ準公務トモ謂フベキ選舉ニ關係シテ犯罪ヲ構成シタ場合ノコトニ關シテ御立論ナサツタヤウニ拜承スルノデアリマス、隨テ問題ハ、選舉法ガ現在少シ重イノデハナイカト云フヤウナ議論ニモナルノデハナイカトモ考ヘラレマスノデ、是ハ又別ノ問題トシテ吾々代議士ノ資格デ深ク考ヘナケレバナラスト思ヒマス、只今ノ御尋ハ御尤ノ點モゴザイマスノデ、當局ト致シマシテハ辯護士法ノ缺格條項ト兩々睨合ヒマシテ、將來研究考覈致シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○今成委員 折角ノ御熱心ナ御答辯デゴザイマスケレドモ、ドウモ私ノ頭ガ惡イ故カ承服致シ兼ねルノデゴザイマス、他日ノ機會ニ自ラ議論ヲ又別ニ出シタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終了致シマシタ

○川崎委員長代理 山崎君

○山崎委員 是ハ法文上ノコトデハゴザイマセヌガ、特許局ニ對スル御尋デゴザイマス、聞ク所ニ依リマスレバ、特許局ハ獨立ノ相當ノ財源ヲ持ッテ居ルト云フコトデアリマス、特許局ガ一體今ドレダケノ財源ヲ持ッテ居ラレルカト云フコト、更ニ、帝國特許協會デアリマスカ、名稱ヲ一寸忘レマシタガ、各府縣ニ其支部ガアル筈デアリマス、其支部ノ數ガドレダケアルカ、斯ウ云フヤウナ點ヲ先ヅ簡單ニ御聽キ致シタイト思ヒマス

○本暮政府委員 前ノ委員會ニモ詳シク申上ゲマシタガ、特許局ノ關係デハ收入ガ二百八十萬圓、經費ガ百五十萬圓デアリマス、ソレカラ發明協會ノ支部ハ全國デ多分十九ト云フ風ニ記憶シテ居リマス

○山崎委員 收入ガ二百八十萬圓、支出ガ百五十萬圓トスレバ、相當金ガ殘ル譯デアリマス、私ガ御尋ショウト思ヒマスノハ、現在ノ社會情勢ノ下ニ於キマシテ、各方面ニ所謂小發明家ト云フモノガ相當ニ頭ヲ擡ゲテ居リマス、是等ハ殆ド資力ガ無いガ故ニ、自分ノ考案ニナツタ品物ガ中途デ社會ノ實用ニ供セラレズシテ挫折シテシマフヤウナモノガ多々アルノデアリマス、私共ノ

地方デ雜貨品ノ發明ヲヤッテ居ルノデスガ、サウ云フヤウナコトハ各方面カラ聞キマス、所ガ今御話ガアリマシタ十九ノ帝國發明協會ノ支部、其支部ハ其地方々々ノ大ナル産業家或ハ財閥ノ方々ニ依ッテ殆ド大部分ガ組織セラレテ居ル筈ナノデアリマス

〔川崎委員長代理退席、委員長著席〕

サウ云フ所ヘ相談ニ行キマシテモ、ドウモ不親切ナ、一寸縁ガ遠イト云フ感ガアル、今ノ帝國發明協會何々縣支部ト云フモノノ外ニ、私設ノ色々ノサウ云フヤウナ團體ガアルノデゴザイマシテ、是モ御調査ニナッテ居ラレルト思ヒマスガ、ソレハ勿論政府ト致シマシテハ十分ノ信用ハ置ケマセヌデセウケレドモ、少クトモ今御話ノアリマシタ十九アルトカ云フ帝國發明協會ノ各縣支部ハ、特許局カラ相當ノ補助ヲ受ケテ居ル筈デアリマス、ソレデ本部ノ方カラ各地方ヘ通達シテ戴キマシテ、各種補助ガ下ノ方ヘモ行届クヤウナ方法ヲ講ズル必要ガアルノデハナイカト云フコトヲ私共ハ常ニ痛感致シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ希望ノアツタ場合ハ、當局ハ其希望ニ應ズルダケノ覺悟ガアルカト云フコトヲ一應御聽キシタイ

○本暮政府委員 只今山崎委員ノ優秀ナル

發明、考案ヲ實施ニ移スト云フ御話ハ洵ニ御同感ニ堪ヘナイ次第デアリマス、政府ニ於キマシテモ、特ニ意ヲ之ニ用ヒマシテ、昨年度ノ豫算デ、僅ナ金額デゴザイマシタガ、考案、發明ト實際ノ仕事ヲヤッテ居ルコトト連絡サセマシテ、實施ヲスルト云フ援助ノ費用ヲ豫算ノ中ニ得マシテ、發明協會ノ中ニ發明實施援助部ト云フモノヲ設ケマシテ、發明家ト實業家トノ間ニ密接ナル連絡ヲ持チマシテ、價值ノアル發明考案ヲ實際ニ役立タシメルト云フコトニ骨ヲ折リマシテ、昭和十二年ノ九月アタリカラ、委員ヲ設ケテ仕事ヲ始メテ居リマス、地方ニ於ケル發明協會ノ支部ノ敏活ヲ缺キマシタ點ニ付キマシテ、サウ云フ事實ガアルト致シマスレバ、洵ニ遺憾デアリマス、今後サウ云フコトノナイヤウニ、私共ノ考ヘテ居リマスヤウニ活動サセ、殊ニ只今御注意ノアリマシタ優秀ナル發明、考案ヲ實施ニ移スト云フコトニ付キマシテハ、特ニ力ヲ盡クサセルヤウニ、鞭撻致シタイト考ヘテ居リマス

○山崎委員 御言葉ヲ戴キマシテ、左様ニ御取計願ヒタイト思ヒマス、重ネテ御聽致シマスガ、年々百三十萬圓バカリノ剩餘ガアリマシテ、長年ノ間ニ互リマシテ特許局ニハ相當財源ガアルト思ヒマスガ、凡ソドノ位アリマスカ

○本暮政府委員 山崎委員ノ御質問ニ御答致シマスガ、特別會計ニ特許局ガナッテ居リマスレバ、ソコニ財源ガ保留サレテアルヤウナコトニナリマスケレドモ、御承知ノ通り只今收入ガ二百八十萬圓、經費ガ百五十萬圓ト申上ゲマシタ其差ハ一般會計ノ方ヘ繰入レテアルヤウナ譯デ、實際申シマス、國家ガ特許其他ノ手数料デ儲ケテ居ルト云フ形ニナルノデアリマスガ、ドコニ其剩ッタ金ガ財源トシテ積立テアルト云フヤウナ譯デハナイノデアリマス

○山崎委員 分リマシタ、特別會計カ何カデ特許局ノ收入ハ別途ニ御積立ニナッテ居ル、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ッタンデ、御尋致シマシタ、ソレカラ斯ウ云フコトモ一應考ヘテ戴ク必要ガアルノデハナイカト思ヒマス、我國ノ特許税金ハ、外國ニ比スレバ、非常ニ高イト云フ批評モゴザイマス、更ニ又大キナ事業家ハ特許税金位ヲ納メルコトハ易々タルモノデゴザイマスガ、小ナル發明家ハ中々特許稅ヲ納メル所マデニ立至ラナイノデス、事實經驗家ハ御存ジデアルコトト存ジマスガ、一ツノモノヲ實用ニ適スルヤウニ商品化スルニハ、少ク共三四年ハ掛

リマス、モット餘計掛ルノハドウシテモ本當ニ實用化シ得マスノニハ五六年掛ルノデス、ソレデ漸ク市場へ出マス、ソレカラ御許ヲ願ッテ儲ケル期間ト云フモノハ殆ドナイ、ソレデ新案ニシマシテモ、專賣ニシマシテモ、權利ノ期間ヲモウ少シ延長シテ戴ク必要ハアリハシナイカ、サウ云フ御考ハナイカ、ソレカラ左様ナ發明獎勵ノ意味カラ税金ヲモウ少シ安クシテ貰ヒタイ、サウ云フ御考ハナイカト云フコト、モウ一ツハ若シ滯納ノ場合ニ權利ヲ失格スル所ノ期間ガ短イヤウデアリマス、ソレカラ其六箇月ヲ經過シテ納メナカッタ場合ノ罰金ト云ヒマスカ、罰金ミタイニナッテ居リマスガ、ソレガ非常ニ高イデス、左様ナ細部ニ互リマシテ少シ時代ニ應ジタ改正ヲシテ戴ク必要ハナイカト思ヒマス、左様ナ點ヲ一ツ御聽シタイト思ヒマス

○木暮政府委員 御答申上ゲマス、外國ヨリ高イト云フヤウナ御話デゴザイマスガ、今係ノ者カラ聽キマス、外國カラ見テ高クアリマセサウデアリマス、ソレカラ貧困ノ者ニ對シマシテハ法律ノ上デ明文ヲ設ケマシテ、免除ノ規定ガアリマス、其他細カイコトハ政府委員カラ御答辯申上ゲマス

○石井政府委員 私カラ補足シテ御説明ヲ

申上ゲマスガ、尙ホ權利ノ期間ガ限定サレテ居ルノデ、折角特許ヲ得テ發明ヲ實施スル迄ニ大分暇ガ掛ッテ、折角モノニナッテカラ後儲ケル期間モナイカラ權利ヲ延長スルヤウニ考ヘタラドウカト云フ御話デアリマス、是ハ特許權ニ付キマシテハ、現在或ル制限ノ下ニ權利ヲ三年カラ十年マデ延長ヲ許ス場合ガアルノデアリマス、ソレカラ特許料納付期間ガ短イデハナイカト云フ御話ガゴザイマシタ、是ハ御話ノ通り第一年乃至第三年ノ特許料ハ特許ノ査定ガアリマシテカラ三十日以内ニ納メロト云フコトニナッテ居リマシテ、其期間ヲ經過シタ場合ニハ、三十日ヲ限リ右ノ納付期間ヲ延長シ、尙又第四年以後ノ特許料ニ付キマシテハ、納付期間ヲ經過シマシタ後ニ於テモ六箇月ヲ限リ特許料ヲ追納シ得ルコトトナッテ居リマス、追納スル代リトシテ倍額ヲ納メルト云フコトニナッテ居リマス、是ハ洵ニ御尤ト思ヒマスケレドモ、一面ニ於テハ納付期間ヲ延シタ場合ノ影響モ考ヘテ見ナケレバナナルマイト思フノデアリマス、ト申シマスノハ御承知ノ通り工業所有權ハ無形ノ權利デゴザイマスノデ、權利ノ讓渡、賣買等ガアリマス場合ニ於テモ、大體特許局ノ登録簿ニ依リマシテ、權利ノ存在ヲ確メテ一般ノ取

引ガ行ハレル、又權利ノ侵害ガ起ルカドウカト云フヤウナ問題ハ、常ニ事業家トシテ注意ヲ怠ラナイデ居ラナケレバナラス問題デアリマス、隨テ其權利ガ只今現存シテ居ルカドウカト云フコトガ重大ナ問題ニナッテ來ル譯デアリマス、ソレデ納付期間ヲ延バスト云フコトハ、一面カラ申シマスルト、權利ガ存在スルカ否カガ不確定ノ狀態ニ置カレル期間ガソレダケ長クナルト云フ結果ニナル譯デアリマス、詰リ更ニ詳シク申シマスレバ、初メ六十日間ト決メテゴザイマスカラ、六十日間經過シマスレバ其權利ガ成立シナイノデアルト云フ風ニハッキリシテ居リマスレバ、直チニソレト同様ノ事業ヲ實行スルコトガ出來ル譯デアリマス、ソレカラ半年ノ追納期間ガゴザイマスカラ、追納期間ヲ經過シテ尙且特許料ヲ納メナイト云フヤウナ場合ニハ此權利ハ消滅スル譯デアリマス、消滅スル譯デアリマスカラ、權利者以外ノ者カラ見レバ其關係ガ頗ル明瞭ニナルノデアリマス、此權利ハ存在セザルモノト云フコトガ確定スル譯デアリマス、サウ云フヤウナ關係デアリマスカラ、一方カラ言ヘバ納付期間ハ長イ程發明家ニ取ッテ便利デアリマスケレドモ、長クスレバ長クスル程權利ノ存否ガ不確定ノ狀態ニ置カ

レテ、一般ノ國民ハ迷惑ヲ感ズルト云フヤウナ事情モゴザイマスノデ、御意見洵ニ御尤ト思ヒマスガ、是ハ將來十分篤ト考ヘマシテ善處致シタイト思ヒマス、之ヲ今延シタ方ガ宜イト云フコトヲ申上ゲル譯ニハ行カナイ事情ニゴザイマスカラ御諒承願ヒマス

○山崎委員 大體分リマシタ、只今私ガ我國ハ特許料金ガ高イト云フコトヲ申上ゲマシタ所、サウデナイコトノ反證ヲ御示シ下サイマシタガ、成程特許料金ノ金額ノ差ニ於テハ、私ハッキリ覺エテ居リマセヌガ、慥カ私聽キマシタノハ外國デハ特許ノ權利期間ガ相當長イ、日本ハ短クハナイカ、是ハ確ニ日本ハ短イデハナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、外國ハ長イ、長イガ爲ニ結果ニ於テ税金ガ安イト云フコトニナルト思ヒマス、是ハ國ノ都合モゴザイマスノデ、今數字のニ私モ論ズルダケノ材料ヲ持ッテ居リマセヌガ、併シ其出願スル場合ノ印紙稅、此印紙稅ハ是ハモウ少シ安クシテ貰ハナケレバナラス、素人ニハヤハリ圖案ヲ書イデ出セマセヌノデ、大抵辨理士ノ所ニ行キマス、辨理士ノ所ニ行キマスナラバ、ヤハリ印紙稅ヲ局ヘ納メナケレバカイヌノト、ソレカラ色々ナ手數ガ掛カルト云フヤ

ウナ工合ニナリマスノデ、斯道獎勵ノ意味カラドツチカラ輕クシテ貫ヒタイ、是ハ時勢ニ鑑テ是非斯ウ云フヤウナ取計ヒガ御願シタイト思ヒマス、或ハ特許税金ノ方モ百歩譲リマシテ、外國ヨリモ安クテモ特許局ハサウ云フヤウニ相當御儲ニナツテ居ル、一年ニ百三十万圓モ御儲ニナツテ居ルト云フヤウナ譯デアリマスカラ、縱令ソレガ五十万圓位デモ何カノ方法デ旨ク施シテヤルト云フヤウナ御考ヲ持ツテ戴キタイト云フコトヲ考ヘマス

○木暮政府委員 將來能ク御趣旨ノアル所ヲ拜承致シマシテ、善處シタイト考ヘマス

○一松委員長 ソレデハ川崎委員

○川崎委員 簡單ニ伺ヒマス、今度ノ改正ニ於テ辨理士ニ鑑定ヲ許スヤウニナツタト

存ジマシガ、午前ノ會議ノ時ノ政府委員ノ御説明ニハ、辨理士ニ二通りアル、法律ヲ主トシタモノト、技術ヲ主トシタモノト二通りアルト申サレタヤウデゴザイマスガ、サウスルト法律ヲ主眼トシテ居ル方ノ辨理士ニモ、専門技術ニ關スル特許鑑定ヲヤハリ許スト云フ御意思デゴザイマスカ
○木暮政府委員 辨理士ノ資格ノアル者ニハ、此辨理士法ニ依リマシテ明確ニシテアリマスル仕事ノ範圍ノモノハ許ス譯デゴザ

イマス、勿論代理ノ仕事デアルトカ、或ハ鑑定、其他書類ヲ作ルコト等一切許ス譯デゴザイマス

○川崎委員 法律ヲ専門トシテ居ル辨理士

ニハ、色々訴訟ノコトニ付テ專ラ扱ハセルト云フ御説明デアツテ、又ソレヲ當然ト思ヒマス、一方別種類ノ方ノ、技術ヲ主眼トスル辨理士ニ特許ノ鑑定ヲサセルト云フヤウナコトハ、是ハ最モ大切ナコトデゴザイマスルガ、法律バカリヲ主眼トスル方ノ辨理士ニモソレヲサセルト云フノハ少シ變デハナイカト思ヒマスノデ、ソコハドンナ風ニ心得タラバ宜シウゴザイマセウカ

○木暮政府委員 一應御尤ノヤウニ聽エマ

スガ、自然ト法律ヲ扱フ方ハ法律ヲ扱フヤウニナリ、技術ノ方ヲ扱フ方ハ技術ノ方ニナリマスガ、他ノ例デ申シマスト、醫者デ外科ヲ專攻シタ人ニモ内科ヲ診テ貰フコトモアルシ、一寸シタ怪我ナラバ内科專攻ノ醫者ニ診テ貰フコトガアルト云フヤウナ譯デ、ヤハリ頼ム方ノ心構ヘノ問題デアリマスカラ、辨理士ノ資格ノアル者ハ、此法律ニ依ツテ明確ニ規定サレマシタ仕事ノ範圍内ニ於テヤツテ差支ナイモノダト、斯ウ云フ風ニ考ヘマス

○川崎委員 其點ハソレデアルト致シマシ

テ、法律ヲ主眼トシテ立ツ者、即チ辯護士ニシテ辨理士ヲ兼ネル者ノ數ハドノ位ゴザイマスカ、總體ノ辨理士ノドノ位ノ割ニナリマスカ

○石井政府委員 是ハ實ハ一寸御斷リ申上

ゲテ置キマスガ、今度ノ改正案デ、苟モ辨理士ハ皆辨理士會ニ加入スルヤウニ改正スルコトニナツテ居リマス、只今ハサウナツテ居リマセヌノデ、實ハ明確ナ所ハ分ラナイノデゴザイマスガ、辯護士タル資格ヲ有スルコトニ依リマシテ、辨理士ニナツテ居リマス者ガ千七百九十八名ゴザイマス、辨理士ノ總數ハ四千三百七十五名、其中千七百九十八名ト云フモノハ辯護士タル資格ヲ有スル點ヨリシテ辨理士ノ登錄ラシテ居リマスカラ、恐ラク是等ノ方々ハ雙方ノ業務ヲ兼業シテ居ラレルモノト想像サレルノデアリマス

○川崎委員 辨理士ノ組合ト云フカ、協會

ト云フカ、サウ云フモノニ入ツテ居ル者ヨリモ入ツテ居ナイ者ノ數ガ多イ、是ハ一寸辯護士協會アタリノ事實ト相反スルヤウナ傾向ニアリマスガ、是ハドウ云フ事情デ左様ナコトニナツテ居ルノデアリマスカ、且又將來ノ見込ハドウ云フモノデゴザイマセウカ
○木暮政府委員 只今一寸他ノ政府委員カ

ラ御説明申上ゲマシタヤウニ、從來ハ辨理士ニ對シテモ辨理士協會等ニ入ルコトヲ強制シデアリマセヌデシタガ、ソレデハ色々ナ點デ統制上困リマスシ、又今回ノ改正ノ主タル目的デアリマスル曩ニ改正シタ辯護士法ノ主タル目的ト同ジヤウニ、依頼者ノ信頼ヲ博スルヤウニ、辨理士ノ品格、人格ト云フモノヲ高メテ行クト云フ趣旨カラ言ッテモ、サウ云フモノニ加入シテオ互ニ切磋琢磨スル必要カラ、今度ハ強制シテ入レルコトニシデアリマス、今マデハ放任シデアリマシタ爲ニ、例ヘバ辨理士ノ協會ヘ入レバ自然費用ガ掛カルトカ、色々ノ點デ入ラナカッタ方モアツタノデハナイカト考ヘラレマス

○川崎委員 最後ニ一ツ小サナ點ヲ此際政

府ニ確メテ置キタイト思ヒマス、午前ノ稻田委員カラノ御質問ノ中ニモアツタヤウデゴザイマスガ、所謂銓衡制度ヲ廢シタコトハ、ソレハ色々理由ガアツテ廢サレタコトト思ヒマスガ、併シ試驗制度萬能ニシタコトハ、他ノ官吏ヤ何カノコトニ付テモ今日色々弊害ヲ認メラレテ、逆轉ショウトスル社會ノ現狀ナノデゴザイマスガ、殊ニ辨理士ニ於キマシテハ技術ニ關スル業務ガ主ナノデゴザイマスルカラ、是ハ必シモ法律ヲ主

眼トシタル試験ヲ「パス」シタ者バカリト云フコトカラ採ルノハ如何カト思ヒマスガ、サレバトテ、情實若クハ銓衡ニ依ッテノミ辨理士ヲ許可スルノハ、ソレハ惡イコトデゴザイマスケレドモ、試験バカリデナク、何カ銓衡カ何カデ以テ採ルヤウナ餘地ヲ、但書カ何カデ差入レルト云フコトガ、今日ノ社會情勢上必要デハアルマイカト思ヒマスケレドモ、絶對ニ左様ナ必要ハナイト云フ御意見デゴザイマセウカ

○木暮政府委員 度々申上ゲマシタヤウニ、最近特許、實用新案、商標、意匠ト云フヤウナモノニ對スル出願請求ガ非常ニ殖エテ參リマシテ、斯ウ云フ工業所有權一般ニ對シマスル知識ト云フモノモ、從來ヨリハ非常ニ高イモノヲ必要ト致スヤウニナッテ參リマシタ、殊ニ日本ノ産業ニ刺戟ヲ與ヘル意味デ、是等ノ仕事ハ非常ニ重要ナル仕事ニナッテ參リマシタカラ、從來ノヤウニ唯帝國大學ノ學部ヲ卒業シタトカ、或ハ其學科程度以上ノ者、或ハ學位ヲ持ッテ居ル者ト云フヤウナコトデ、辨理士タルニ必要ナ知識經驗ヲ得タ者デアルト云フコトヲ認メルコトガ、段々難カシクナッテ參リマシタ、ソレデ銓衡ニ依リ辨理士タル資格ヲ附與スル今ノ制度ト云フモノハ、近頃ノ時勢ノ要求ニ

少シ副ハナイヤウニナッタト云フヤウニ感ジタノデ、今度ハ原則トシテ辨理士ノ試験ニ合格シタ者ト云フコトヲ必要トスルト云フコトニ改メタヤウナ次第デアリマス、ソレデ只今人格其他ノコトヲ能ク考ヘナクテハイカスデハナイカ、唯試験ト云フコトデナシニ世間ノ人物ヲ能ク觀テ、段々オ役人デモ何デモ採用スルト云フヤウナ時代ノ風潮ト、逆行スルノデハナカラウカト云フヤウナ御意見デアリマシタ、一應御尤デゴザイマスガ、今回ノ辨理士法ニ依リマスと、今ノ人格ヲ向上シ、品位ヲ高メテ、依頼者ノ信頼ヲ博スルヤウニ致シマスコトヤ、或ハ御互ニ切磋琢磨スルト云フヤウナコトハ、辨理士會ノ間ノ自肅自戒ニ依ッテ、目的ヲ達シタイト考ヘマシテ、隨テ從來ハ放任シテアリマシタ所ノモノヲ、今回ハ強制シテ、辨理士タル者ハ辨理士會ニ入ッテ戴クト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

ソレカラ次ニ御尋ノ技術方面ノ辨理士タルベキ者ニ對シマシテハ、法律ヲ主ト致シマセヌデ、技術ノ方ノ試験ヲ主トシテ行フト云フヤウナ考ニ依ッテヤル積リデゴザイマスカラ、御懸念ノ點ハ無イト思ヒマス、
○一松委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、

明後十八日午前十時ヨリ會議ヲ續ケマス
午後三時十四分散會

衆議院昭和十三年度一般會計
歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發
行ニ關スル法律案外六件委員
會議錄第十一回中正誤

頁	段	行	誤	正
三一	一	九	恥	恥
同	同	一二	恥	恥
一三	四	二一	國家主義ノ	國家的
一四	二	五	ザルヲナカツ	ザルヲ得ナカ
同	三	五	大軍	界標
同	同	六	結局	當局ハ
一六	一	八九	職務	職務
一七	二	一六	六〇%	六%